

令和2年度第三次補正予算関連事業

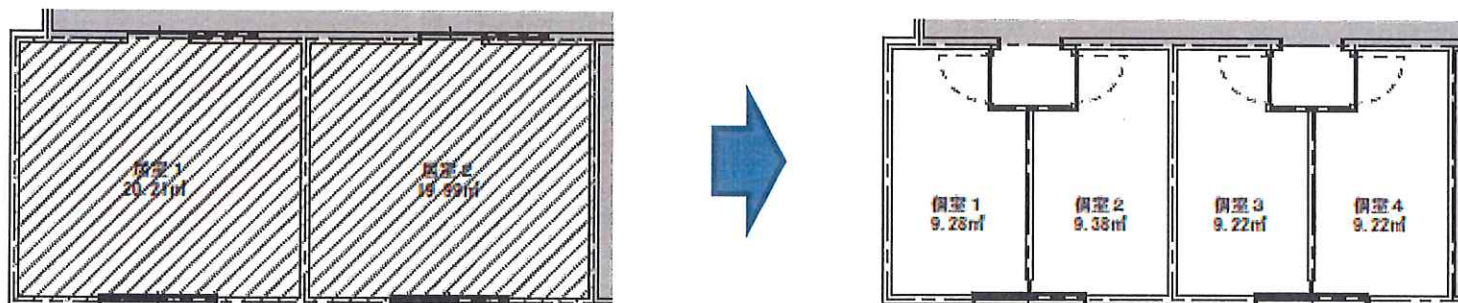
障害者支援施設等における個室化改修等支援事業 (社会福祉施設等施設整備費補助金)

令和2年度第三次補正予算案：30億円

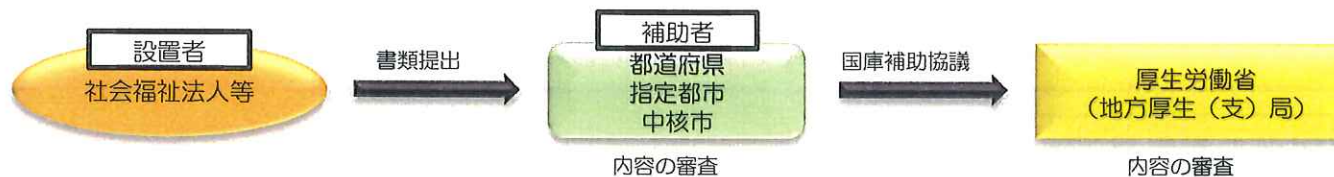
- 障害者支援施設等について、新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、多床室の個室化に要する改修経費について補助する。

感染症拡大防止策

- 新型コロナウイルス感染症の拡大防止策を講じるための施設整備（多床室の個室化や小舎化、簡易陰圧装置の設置・換気設備の設置等）を支援する。



補助割合 国 1 / 2、都道府県・指定都市・中核市 1 / 4、設置者 1 / 4



新型コロナウイルス感染症緊急包括支援交付金(障害福祉サービス等分)

令和2年度第三次補正予算案:397億円

- 障害福祉サービス等は、障害児者やその家族等を支える上で必要不可欠であることから、感染症対策を徹底した上で、障害福祉サービス等を提供する体制を構築するための支援を実施する。
- 新型コロナウイルス感染症が発生又は濃厚接触者に対応した障害者施設・事業所に勤務し利用者と接する職員等に対し慰労金を支給する。

障害福祉サービス施設・事業所等

サービス再開支援

- 相談支援事業所や基幹相談支援センター等の相談支援専門員や障害福祉サービス事業所等が、サービスの利用を控えている方への利用再開支援のため、アセスメントやニーズ調査・調整を実施。

感染症対策の徹底支援

- 障害福祉サービス施設・事業所等における感染症対策の徹底のため、
 - ・感染症対策のための各種物品の購入
 - ・外部専門家等による研修の実施
 - ・感染発生時対応・衛生用品保管等に柔軟に活用可能な多機能型簡易居室の設置等、必要となるかかり増し費用を助成。

職員への慰労金支給

- 新型コロナウイルス感染症が発生又は濃厚接触者に対応した障害者施設・事業所に勤務し利用者と接する職員に対し慰労金(20万円)を支給。
- 上記以外の施設・事業所に勤務し利用者と接する職員に対し慰労金(5万円)を支給。

交付

都道府県

- 都道府県における、今後に備えた消毒液・マスク等、必要な物資の備蓄を支援。
- 緊急時の応援に係るコーディネート機能の確保
- 感染対策相談窓口の設置

交付(10/10)

国

障害福祉システムの標準化に向けた標準仕様書作成等業務委託事業

目的

令和2年度第三次補正予算案:1.5億円

- 今般の新型コロナウイルス感染症対策対応において、国や地方自治体の情報システム業務や業務プロセスが異なり、地域・組織間で横断的にデータも十分に活用できない等、システム面での様々な課題が明らかになった。このため、国、地方を通じたデジタル基盤の統一・標準化を推進する必要がある。

事業概要

- 各自治体における障害福祉関係の業務プロセスやシステム標準化を行うため、障害福祉関係業務のシステム標準化を行うに当たっての課題や留意点等を踏まえつつ、各自治体やシステムベンダーの意見照会等を実施し、各種意見を反映の上、標準的な仕様書を作成する。

事業のイメージ等

【実施主体】 民間事業者

【補助率】 国10/10

- 【事業内容】
- ・検討会等の運営(資料作成、結果取りまとめ等)、自治体・ベンダ等の関係者意見調整
 - ・標準仕様の業務フロー、機能要件、帳票要件等一式資料の作成業務
 - ・標準的仕様書(案)の作成業務 等

<標準化のイメージ>

	Xベンダ 提供システム	Yベンダ 提供システム	Zベンダ 提供システム
実装必須機能	◎ (必ず実装)	◎ (必ず実装)	◎ (必ず実装)
実装不可機能	- (実装不可)	- (実装不可)	- (実装不可)
標準オプション機能A	●	●	
標準オプション機能B	●		
自治体による 選択	A市	B市	C市

原則
標準仕様の範囲

例外
必要最小限度にとどめる

医療的ケア児等医療情報共有システム改修事業

令和2年度第三次補正予算案：2.2億円

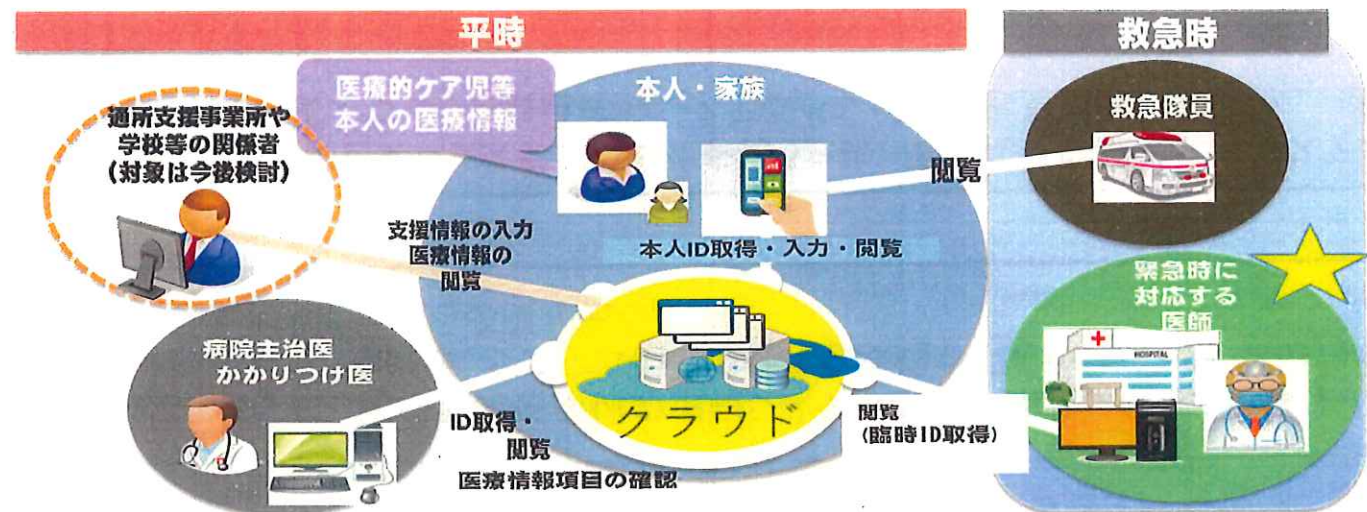
目的

- 医療的ケアが必要な児童等（以下「医療的ケア児等」という。）が新型コロナウイルスに感染した場合を含む救急時や、予想外の災害、事故に遭遇した際に、かかりつけ医以外の医師が迅速に必要な患者情報を共有できるようにする。

概要

- 医療的ケア児等の医療情報を、かかりつけ医以外の医師と共有するための「医療的ケア児等医療情報共有システム」(MEIS) について、医療的ケア児等の家族及び医師の双方にとって使いやすいシステムとするための改修を行う。
※ MEIS : **M**edical **E**mergency **I**nformation **S**hareの略称
- 具体的には、新型コロナウイルスに感染した場合の搬送時に、医師が確認する救急サマリーとして必要な項目の入力を行いやすくするなどして、入力される医療情報の充実が図られるようにする。

システムの運用イメージ



障害福祉分野のICT導入モデル事業

令和2年度第三次補正予算案:3.3億円

1. 事業目的

- 新型コロナウイルスの感染拡大を防止する観点から、また障害福祉分野におけるICT活用による生産性向上の取組を促進するため、障害福祉サービス事業所等におけるICT導入に係るモデル事業を実施し、安全・安心な障害福祉サービスの提供等を推進する。

2. 事業概要

- ICT機器の活用による濃厚接触の予防など新型コロナウイルスの感染拡大を防止し、あわせて生産性向上の取組を促進するため、障害福祉サービス事業所等におけるICT導入に係る経費を助成する。
- モデル事業所においては、事業開始前にICT導入に係る研修会(都道府県等が委託等により実施)に参加し、ICT導入による感染拡大防止や生産性向上の取組を実践し、その効果を測定・検証のうえ国に報告する。

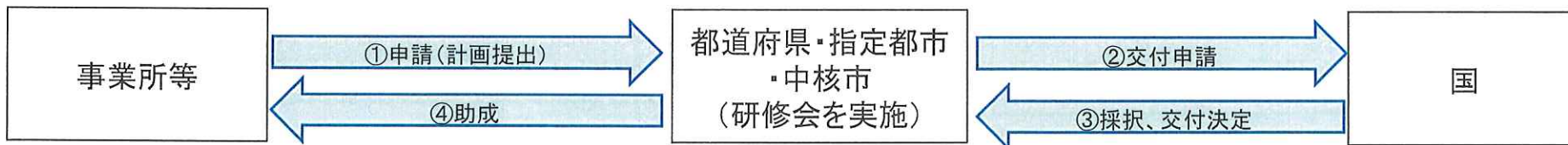
【実施主体】 都道府県・指定都市・中核市

【実施対象】 障害福祉サービス事業所等

【補助単価】 1事業所あたり 上限100万円

【補助率】 国2/3 都道府県・市1/3

3. 事業スキーム



障害福祉分野におけるロボット等導入支援

令和2年度第三次補正予算案：2.9億円

- 障害福祉の現場におけるロボット技術の活用により、介護業務の負担軽減等を図り、新型コロナウイルスの感染拡大防止や労働環境の改善、生産性の向上等を通じて安全・安心な障害福祉サービスの提供等を推進する。

事業内容

- 障害者支援施設等が介護負担軽減、労働環境の改善、生産性の向上等を図るためにロボット等を導入するための費用について財政支援を実施する。

事業要件

【実施主体】

- 都道府県、指定都市、中核市

【補助率】

- 国：2/3 都道府県、指定都市、中核市：1/3

【導入施設・事業所】

- 障害福祉サービス等の指定を受けている施設・事業所

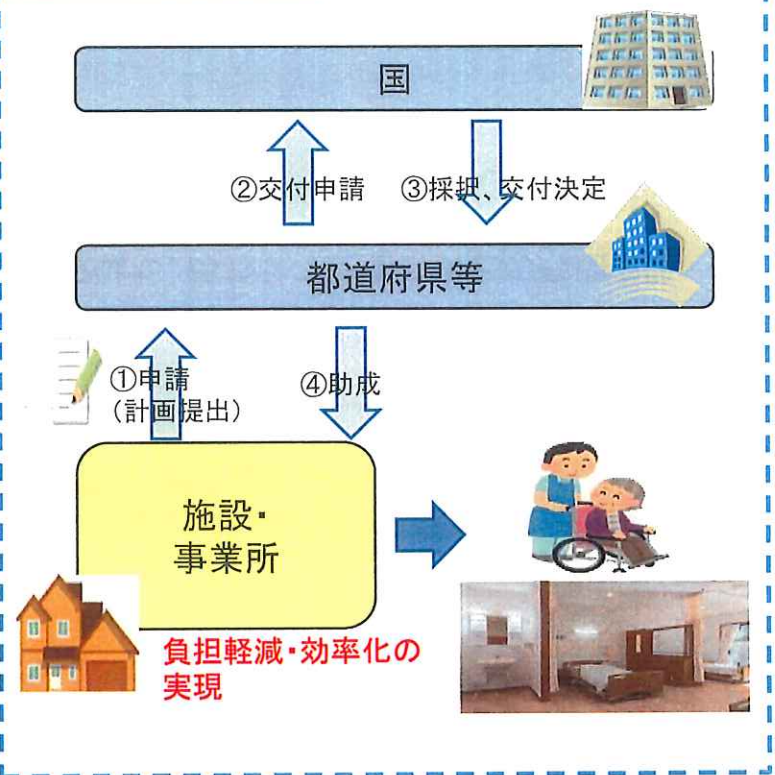
【申請要件】

- 介護業務の負担軽減等のためのロボット導入計画の作成（計画の記載内容）
→ 達成目標、導入機種、期待される効果等とし、実際の活用事例を示すことで他の施設等が参考にできるような内容であること。

【補助対象】

- 日常生活支援における見守りで利用するロボット等が対象。
※ 販売価格が公表されており、一般に購入できる状態にあること。

事業スキーム



障害者支援施設等における耐震化整備等支援事業 (社会福祉施設等施設整備費補助金)

令和2年度第三次補正予算案：52億円

- 障害福祉サービス施設、事業所等の防災・減災対策を講じるための施設整備（耐震化整備、ブロック塀等改修、非常用自家発電設備の整備、浸水被害等に備えた改修等）に要する費用を補助する。

防災・減災対策

- 近年の自然災害を教訓に、障害児・障害者が利用する施設の安全・安心を確保するため、耐震化整備、ブロック塀等改修、非常用自家発電設備の整備、浸水被害等に備えた改修等の防災・減災対策を進める。



補助割合 国1/2、都道府県・指定都市・中核市1/4、設置者1/4

